



神奈川支部報

神奈川支部報 第 21 号

発行日：2022 年 4 月 1 日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部

横浜市青葉区若草台 2-58 込田方



不動尻のミツマタ

丹沢周辺の渡来人の足跡（3）

和田誠一

やがて霊亀 2 年 (716) に朝廷は駿河、甲斐、相模、上総、下総、常陸、下野の各地域に住んでいた高句麗人 1799 人を武蔵国に移住させ高麗王若光を郡守として高麗郡を置いた。“高麗”といっても統一新羅滅亡の後に朝鮮半島を治めた“高麗”とは別の国である。その拠点となったのが現在の埼玉県日高市で J R 八高線「高

麗川」から徒歩 20 分、西武池袋線の「高麗駅」からは 40 分位のところに高麗神社がある。若光の死後、郡民が若光の徳を偲び祀ったのが高麗神社である。宮司は代々若光の子孫・高麗氏が務め、現在（令和 3 年）60 代目にあたる。

さて大磯の高麗神社は奈良時代（養老年間）に入って境内に漁師蛸之丞が大磯の照ヶ崎の沖合で引き揚げた先手観音像を祀った伝説が伝えられる鶏足山雲上院高麗寺を建立し、高麗神社の別当とした。

「神奈川県史」にも「今日、大磯町字高麗は

旧高麗寺村といい、高麗山の南麓に位置する。高麗山に高麗寺があった。『吾妻鏡』建久三年八月九日の条には、相模十五寺の一つに数えられ、盛んな時には、末寺二十四坊を数えたという」とある。

江戸期には高麗権現に対する幕府の尊信は厚く丁重に保護されていた。

しかし明治に入り、維新政府の神仏分離政策によって仏堂・仏像が破壊され、高麗寺は破壊され高麗神社のみが高来神社と名前を変えて今日に至っている。

話が変わって大山の麓（伊勢原市）にある日向薬師のバス停近くに白髭神社がある。「大山不動と日向薬師」（宇都宮泰長/鈴木隆良著）には「…この縁起にでてくる白髭明神は、日向薬師の旧参道入口にある白髭神社の祭神であり、この地方における渡来人の祖神であるといわれている。白髭神社のご神体は長い髭を生やした木像で“高麗王若光”と伝えられている。」とある一方で、ご神体は高麗福信ではないか？との説も紹介している。



「若光の墓 日高市」

高麗福信は但馬守、武蔵守等を歴任し帰化人としては最高位の従三位に叙せられる。当時、武蔵とか相模といった国名の由来から、先住帰化人と若光一族のような高句麗からの亡命者との抗争がうかがえる。

一般に渡来人と言っても高句麗・百済・新羅からの人が混在していた。相模国に関していえば秦野の地名ともなっている秦氏は新羅系の渡来人と言われるし、天智天皇5年（666）に「官食を給していた百済の僧俗二千余人を東国に移す

」と日本書紀にある百済人も相模に定住したであろう。

高麗福信の父親もその一人と見られ、福信を祖神として祀ったと考えられる。福信は80歳の高齢で死去したと伝えられることから白髭白髭の老人だったとしたら、まさにご神体そのもの。

また白髭神社の由来には「古代日本と朝鮮文化」（金達寿著）の中で高来神社の宮司で高麗家第58代目とのインタビュー記事を載せ「白髭神社は、元々は新羅系渡来人が祀った白髭神社があり、後から若光を祀る高句麗系と重層した」とある。

同じ伊勢原市内の石倉中や比々多三ノ宮にも高麗人のものと思われる古墳が見つまっている

。「…これらの古墳も大抵積石塚であるから、渡来人がつくったものであろうと思われる。このように朝鮮からの渡来人がつくったと思われる古墳が、日向の近くにいくつかある。古墳時代から日向の地に近いところに、朝鮮ことに高句麗からの渡来人が住んでいた」ともある「日本の中の朝鮮文化1」（金達寿著）



白髭神社 伊勢原市

『泉の森自然観察会（探鳥会）』

渡邊正敏

令和4年1月29日

コロナ感染拡大が心配される中、各自感染対策に留意して、観察会を実施しました。定刻前に、全員揃いましたので、予定を早めての出発となりました。ふれあいの森入口で、初参加の方がいますので、自己紹介とコースの概要説明をしました。

引地川沿いに進むと、ヒヨドリが頭上を飛び交い、ドバトが電線に列をなして並び、川面を見るとキセキレイが、そしてカワセミがすうっと飛んで消えました。さらに歩を進めると、シジュウカラ、コゲラ、ハシブトガラスが木々を飛び交い、コサギ、ダイサギが川を歩いています。

泉の森に入り、しらかしの池では、初めはオオバンが2羽ほど泳いでいるしか見られませんでした。アシなどの水草の根元や木々の藪などを覗くと、ヒドリガモ、ゴイサギ、バン、アオジ、ジョウビタキなどがいることが分かりました。

昼食後、水源地の周回に出かけます。ツグミ、キジバト、シロハラが葉をひっくり返して餌を探しています。カワラヒワが2羽そろって飛んでいきました。帰り道にしらかしの池へ戻り、午前中と反対の裏を歩くと、ゴイサギが良く観察でき、カイツブリが1羽ですが、なんども潜る様子が良く見えました。

ふれあいの森の一角にある緑の見本園を通ると、ロウバイが満開状態で、春を告げるミスミソウ(ユキワリソウ)が早くも2輪咲いていました。



↑泉の森にて

<コースタイム>大和駅発 9:50—ふれあいの森(引地川沿い)—しらかしの池 10:30~11:10—自然観察センター 11:10~11:30—緑の架け橋—水車小屋(昼食 11:40~12:08)—水源地周回—しらかしの池—ふれあいの森(緑の見本園経由)—大和駅 14:20 解散

<参加者>丸山さかえ、吉澤平治、國清喜美子、細川治子、関口由美子、藤川智恵子、堀江精三郎、渡辺正敏 以上8名

山岳古道プロジェクト報告(第3回)

昨年11月から取り組んできた八菅修験道の踏査が大詰めです。2月23日、煤ヶ谷から大山三峰、唐沢峠付近を経て不動尻までを踏査。三峰の痩せ尾根では雪が氷化しており久しぶりにアイゼンのお世話になりました。



↑大山三峰山

幸い天候には恵まれ、奥秩父から相模灘まで抜群の眺望を得ることができました。3月19日には、広沢寺温泉から大釜弁財天、弁天御髪尾根を経て大山山頂を踏む予定でしたがあいにく天候により、大山山頂を残しミツマタ満開の不動尻へ下り、八菅満願はお預けになりました。またこの間、いくつかの行所をスポットで調査してきました。八菅修験道は、聖護院直末八菅山光勝寺(現八菅神社)から大山寺本宮(現阿夫利神社下社)に至る30行所を巡る約50kmの入峰修行道ですが、行所の具体的な場所が不明なところも多くあります。文献を手掛かりに地形や景色から場所を推理するという新しい登山の楽しみを知ることができ、また厳しい入峰修験の一端を肌で感じさせられる山行になりました。4月からは箱根旧街道、足柄古道と支部内公開の踏査が続きます。(記 葉上)



↑ 雪の不動尻

山行報告

かながわ山岳誌 Hコース

白銀山

令和3年12月18日
箱根湯本駅から上畑宿行バスに乗車し、台の茶屋にて下車。湯本駅から歩いたら、ここまで40分かかるが、バスを利用して9分で到着。日陰の北側斜面の車道を登っていく。日が当たっていないので、とにかく寒い。車道から林道に入り、堰堤手前の道を進み、白銀山への尾根筋の取付点に到着。いきなり、ヤブっぽい斜面を登り、尾根筋に上がった。この先は、尾根筋の経路を登っていく。

植林帯の急登が続くが、途中で、陽が差し込んできたので、周囲が明るくなり、気分爽快。一気に標高を稼いでいく。

10:24、三所山に到着。樹林帯の中の頂上で、小休止。その後、老懐山に寄り道し、白銀山へ向かう。白銀山に近づいていくと、登山道に雪が目立ってきた。

11:21、ササヤブに囲まれた白銀山頂上に到着。三角点の上に薄らと雪が積もっていた。ランチタイムとした後、この付近を散歩して経路を確認する。

13:15、白銀山頂上を出発。北西尾根を下っていく。登山道に左右のササが伸びていて、足下が見えなくなっていた。途中、尾根幅が広くなり、尾根が分岐する箇所では正しいルートを確認しながら、下っていく。

最後は、一直線の急な尾根筋下りとなり、大腿四頭筋を酷使しながら慎重に下っていくと天狗沢に下り立った。その後は、沢沿いに進み、箱根新道下を通り、発電所前に到着した。(記: 永井泰樹)



↑ 白銀山頂上

<コースタイム>箱根登山鉄道箱根湯本駅(7:25) = (バス) = (7:34) 台の茶屋(7:39) ~ (7:51) 取付点(7:54) ~ (8:28) 三角点(8:32) ~ (10:24) 三所山(10:27) ~ (10:42) 老懐山 ~ (11:21) 白銀山 ~ (ランチ&周遊) ~ 白銀山(13:15) ~ (14:42) 天狗沢横断 ~ (15:14) 発電所前(15:20) = (バス) = (15:47) 箱根登山鉄道箱根湯本駅

<参加者> 田島剛、永井泰樹、森武昭、中島良行、玉木美智子 関口由美子、廣岡正敏

かながわ山岳誌 Lコース

松茸山

令和4年月8日

鳥屋にて下車し、奥野隧道へと向かう。住宅地を過ぎると、路面凍結の下り坂となり、慎重に進んでいく。その後も日陰道が続き、足下は、滑りやすい状況だ。だが、奥野隧道を抜けると、一転して陽光を浴びた明るい広場に出た。ここで小休止。

八丁林道を下っていく、松茸山水沢口に到着。ここから、いよいよ登山道となる。最初は、暗い植林帯だったが、そのうち、自然林の登りとなった。日が照って、明るい斜面を登っていく。やがて、植林帯が現れ、尾根筋沿いの急登とな

る。周囲の景色も見えず、ひたすら我慢の登りだ。その登りが終わると、平坦部に出た。ここで右方向に登っていけば、少し高い所に東屋が見え、そこが頂上だとわかった。

11:48、東屋のある頂上に到着。東屋には、松茸山の山頂標識が掛かっていた。ここでランチタイムとした。ここからは、焼山が大きい。その後、三角点のある地点に向かう。

12:38、三角点到着。ここにも松茸山の看板があり、あれっと思った。調べてみると、手許の東丹沢登山詳細図では、東屋のあるピークは、スイリカンバノ頭と記されており、三角点のある地点が松茸山となっていた。だが、現地の案内板では、東屋のある場所が松茸山山頂と書かれてあった。どうやら現地と地図で、矛盾が生じているようだ。

三角点位置からは、一気に下っていき、早戸川口に下山した。その後は、宮ヶ瀬湖沿いに林道を歩いていくが、他のメンバーとの会話が弾み、林道歩きも苦にならない。気がつけば、前方に宮ヶ瀬バス停が見えていた。(記：永井泰樹)



↑松茸山頂上(東屋のあるピーク)

<コースタイム> JR橋本駅北口(9:05)=(バス)=(9:49)鳥屋(9:57)~(10:36)奥野隧道出口(10:48)~(10:58)水沢川口~(11:48)松茸山山頂(スイリカンバノ頭)(12:34)~(12:38)松茸山三角点(12:52)~(13:23)早戸川口~(13:27)早戸川橋入口(13:37)~<早戸川林道>~(14:48)宮ヶ瀬(15:00)=(バス)=(15:54)小田急本厚木駅

<参加者>田島剛、永井泰樹、森武昭、渡邊正敏、稲垣哲郎、藤川智恵子 関口由美子、石村日満子

かながわ山岳誌 Hコース

星ヶ山・天明山

令和4年1月22日

湯河原駅からタクシーに乗り、さつきの里にて下車。振り返ると、相模湾が広がる。展望が素晴らしい場所だ。ここから白銀林道を歩き、まずは、南郷山を目指す。

8:53、南郷山頂上到着。まだ時間が早いせいか、頂上は、我々だけだった。今日は先が長いので、早々と出発し、今度は星ヶ山を目指す。

最初は、普通の登山道だったが、星ヶ山へのルートは、途中からササヤブ経路となった。最初は、経路の巾が広がったのだが、最後は50cm以下になり、両肩がササに当たるようになる。この先、大丈夫かと心配しながら進んでいくと、小さな広場に出た。すると、そこが星ヶ山の頂上だった。



↑星ヶ山へのササヤブ経路

その後もササヤブ経路が続く。だが、途中で、経路を見失い、ササヤブを突き進んでいくと、突如、林道に出た。地理院地図には掲載されていない林道なので、びっくり。

その後は、地図上は破線路だが、実際は車が通れるような林道を歩いていく。林道がいくつか分岐するが、天明山に近づく林道を進む。林道終点からは、ヤブとなるが、星ヶ山のような密なササヤブではないので、気が楽だ。このあたりが最高地点かなと思った所で山頂標識を発見。その後、林道に戻って、ターンパイクに向かう。ターンパイクには、地下道があることを知っていたので、そこを利用し、ターンパイクの反対側に渡り、以前歩いたことのある三所山へのルートに乗って下山した。

だが、後5分で林道に出るという所で、アクシ

デントが発生。メンバーの一人が斜面で足を痛めてしまった。この結果、最後はタクシーに乗り、箱根湯本に到着した。(記：永井泰樹)



↑星ヶ山頂上



↑天明山頂上

<コースタイム> JR湯河原駅(7:45)＝(タクシー)＝(8:06) さつきの里(8:08)～(8:53) 南郷山(9:05)～(10:43) 星ヶ山(11:02)～(11:43) 林道合流点(11:52)～(12:16) 林道分岐点～(12:19) 林道終点～(12:27) 天明山(12:43)～(12:50) 林道終点～(12:54) 林道分岐点(13:15)～(13:53) ターンパイクトンネル～(14:31) 白銀山ルート合流点(14:36)～(15:04) 三所山(15:10)～(16:21) 三角点(16:29)～(17:29) 尾根取付点～(17:38) 車道合流点(17:53)＝(タクシー)＝(17:58) 箱根湯本駅

<参加者> 永井泰樹、森武昭、中島良行、関口由美子、玉木美智子

かながわ山岳誌 Lコース

南山・富士居山

令和4年2月12日

バスを降り、宮ヶ瀬湖北岸道路を東に歩くと南山への登山ルートが始まる。軽アイゼンを着けて登る。送電鉄塔を過ぎると権現平の雪原に出る。東側の展望が良い。稜線を東に進み南山頂上に出る。眼下に宮ヶ瀬湖が見える。あいかわ公園まで下り、昼食を取り、車道を半原へ歩く。民家の脇からジグザグの急登が始まり大峰に到着。雪が積もった稜線を向山へと歩くが、出会う人はいない。そのまま富士居山へ進み、三角点を確認し三増合戦場跡方面へ下る。首塚、胴塚を見学し馬渡橋からバスに乗り本厚木駅で散会とした。(記：田島剛)



↑南山山頂



↑大峰山頂

<コースタイム> JR橋本駅(バス)＝鳥居原ふれあいの館～権現平～南山～あいかわ公園～半原～大峰～向山～富士居山～馬渡橋(バス)

＝本厚木駅

<参加者>永井泰樹、稲垣哲郎、渡辺正敏、杉田和美、玉城美智子、関口由美子、中島良行、長島泰博、藤川智恵子、田島剛

かながわ山岳誌 Hコース

袖平山

令和4年2月18日

三ヶ木で前日、予約したタクシーに乗車し、国道413号線を進む。東野で国道から離れ、蛭ヶ岳登山道に続く道をタクシーで進む。7:45、ゲートにて下車。ここが、本日のスタート地点となる。8:01、ゲートを出発。舗装された林道を歩いていき、8:16、林道を離れ、釜立沢左岸尾根ルートへの登山道に入る。植林帯の緩い斜面を登るが、地面には雪が積もっており、北側斜面の雪は、まだ相当あることを覚悟する。

9:19、だいぶ雪が多くなってきた。チェーンスパイクの爪が雪に掛かり、歩き易い。

10:30、八丁坂ノ頭の分岐点に到着。ここで丹沢三峰や宮ヶ瀬湖だけでなく、蛭ヶ岳も望めた。ここからは、東海自然歩道となるが、完全な雪道となった。積雪量は、約20～30cmあったが、登山道は、幸い、踏み固められており、歩き易くなっていた。

11:08、姫次到着。先程までくっきり見えていた蛭ヶ岳は、気温が高いせい、霞み始めていた。また、檜洞丸は、手前の落葉松林の丈が伸びてしまい、残念ながら、隠れてしまうようになっていた。

11:18、姫次から袖平山へと向かう。11:42、袖平山頂上に到着。ここは、日当たりがいいのだが、雪は、まだ十分にあった。山頂下のベンチにてランチタイムとする。このベンチ付近からの蛭ヶ岳や檜洞丸の眺望は、姫次より優れているのではないかと思えた。

この後、姫次、八丁坂ノ頭の分岐点、釜立沢左岸尾根と戻って、ゲートには、14:56 到着。

その後、東野バス停まで歩いた。(記：永井泰樹)



↑袖平山頂上

<コースタイム> JR橋本駅北口(6:40)＝(バス)＝(7:10)三ヶ木(7:18)＝(タクシー)＝(7:45)釜立沢林道ゲート(8:01)～<釜立沢左岸尾根>～(10:30)八丁坂ノ頭分岐点(10:41)～(11:08)姫次(11:18)～(11:42)袖平山(11:51)～(12:43)姫次(12:49)～(13:10)八丁坂ノ頭分岐点～<釜立沢左岸尾根>～(14:56)釜立沢林道ゲート～(15:36)東野(16:20)＝(バス)＝(16:54)三ヶ木(16:55)＝(バス)＝(17:47)JR橋本駅北口

<参加者>田島剛、永井泰樹、中島良行、関口由美子、小林英世

かながわ山岳誌 Lコース

石垣山・石橋山

令和4年3月12日

駅前から車道を北に沿い、ガードを潜り箱根板橋方面へ歩く。途中、堀秀政が眠る海蔵寺を訪ね、「ビランジュ」の巨木を見る。付近は河津桜が満開だ。狭い舗装路を辿り徐々に高度が上がるとミカン畑が広がる。やがて、石垣の立派な一夜城に出る。秀吉が北条攻めのため一夜で築城したといわれている。眼下に小田原城、相模湾が一望できる。馬屋曲輪の北東に設置された三角点を確認し、城を後にして、太閤林道を下る。農道を歩き石橋山へ向かう。源頼朝が平家と戦った石橋山古戦場にある佐奈田与一を祀る佐奈田霊社を参詣した後、車道に出て早川駅に戻る。(記：田島剛)



↑石垣山山頂にて

<コースタイム>JR 早川駅～海蔵寺～一夜城
～石垣山～佐奈田霊社（石橋山）～早川駅
<参加者>出江俊夫、川俣顧問、渡辺正敏、堀
江清三郎、中島良行、丸山さかえ、関口由美子、
藤川智恵子、打矢之成、田島剛

役員会報告

1月役員会

日時：令和4年1月19日（水）：19:20～20:40

場所：各自の居場所

今回は本部会議の都合で日程変更を余儀なくされ会議室が確保できなかったためオンラインのみによる開催とした。

出席者：込田支部長、大槻副支部長、永井事務局長、森、田島、長島、落合、青木、渡辺、植木

監事：砂田

委任状による出席：早川、廣岡、柴山

[報告事項]

(1) 会員の異動

15420 中村正之：東京多摩支部から無所属を経て当支部に入会申請中

(2) 会報の原稿執筆依頼

本部会報担当から三浦アルプスと湘南アルプスに関する原稿執筆依頼があ永井が執筆した。

(3) 本部から依頼のあった支部アンケートに関して、当支部の回答案について説明があった。

(4) 山行報告

- ・12/18 に山岳誌プロジェクトHコースとして、白銀山実施。参加者は7名。
- ・1/8 に山岳誌プロジェクトLコースとして、松茸山を実施。参加者は8名。

[審議事項]

(1) 年間計画

- ・県岳連代議員会は 5/22。支部総会は 5/28（土）15 時から県民センター会議室での開催を予定。

(2) 山行計画

1/21 日から神奈川県にはまんえん防止等重点措置が適用されることになったが、支部としては昨年9月の役員会で決定した内容で今後も対応していくことを確認した。

- ・1/22 に山岳誌Hコースとして、榛ノ木丸を予定していたが、道路事情などを考慮して以下の案に変更することにした。湯河原駅＝(バス)＝鍛冶屋～白銀林道出合～南郷山(176)～星ヶ山登山口～星ヶ山(229)～天明山(160)～星ヶ山～登山口～林道分岐～鍛冶屋＝(バス)＝湯河原駅を実施予定。
- ・2/12 に、橋本駅北口＝バス＝鳥屋ふれあいの館 BS～権現平～南山～あいかわ公園～半原～大峰～向山～富士居山～三増古戦場～三増 BS＝バス＝本厚木駅を実施予定。
- ・1/29 に大和駅を発着とする野鳥観察会の実施案についての説明があった（担当：渡辺）。
- ・3/4～3/6 に赤倉ユアーズインを宿泊場所として実施するスキー・スノーシュー懇親会について説明があり、支部会員に募集をかけることにした。なお、2日間の参加も可。担当は廣岡。

(3) 全国支部懇談会に関して

永井から当会主管で実施予定の全国支部懇談会のプレアナウンス版の説明があり、支部連絡会で周知することにした。なお、コロナ感染の影響が危惧されるので、正式なアナウンスと申し込み受付期間、参加費の入金受付期間を可能な限り遅らせることにした。

- (4) 2022年度支部予算書に関して
今年度とほぼ同じ内容とする案が承認され、本部に届けることにした。
- (5) 2022年度支部事業計画に関して
今年度とほぼ同じ内容とする案が承認され、本部に届けることにした。
- (6) 県岳連の定款・規程改正案
永井から県岳連で現在検討中の内容についての説明があった。
- (7) 山岳古道プロジェクトに関して
砂田より進捗状況について説明があった。調査で実施する山行に関して、支部山行として実施する場合には計画書を提出し役員会の承認を得ることを確認した。
- (8) その他
今年度の予算に執行に関して審議した。ハンドマイクの追加購入、スノーシューの追加購入、かながわ山岳誌の原稿料(永井・田島・砂田が対象)などの提案があり、永井がこれらを整理し、予算額相当分にまとめ、次回の役員会で決定することとした。

2月役員会

日時: 令和4年2月17日(木): 19:00~20:15

場所: かながわ県民センター702会議室

出席者: 永井、廣岡

オンラインでの参加: 込田支部長、大槻副支部長、早川副支部長、森、長島、落合、青木、渡辺、植木、田中、葉上

オンラインで参加の監事: 砂田

委任状による出席: 柴山、田島

[報告事項]

(1) 会員の異動

15420 中村正之: 東京多摩支部から無所属を経て当支部への入会手続き完了

A0357 玉木美智子: 準会員から正会員への異動申請中

(2) 展示会開催案内

丹沢資料保存会 20周年記念行事として、1/22~2/23に秦野ビジターセンター(大倉BS下車すぐ)で「山青く水清きふるさと丹沢」の展示会を開催中。

(3) 山行報告

・1/22に山岳誌プロジェクトHコース星ヶ山を実施した。参加者は5名。

・2/12に山岳誌プロジェクトLコースとして、南山・大峰を実施。参加者は10名。

(4) 自然観察会報告

1/30に泉の森自然観察会を実施。参加者は8名。

[審議事項]

(1) 年間計画

・山行計画を追加記載した。

(2) 山行計画

・2/26に山岳誌Hコースとして、橋本駅北口=(バス)=三ヶ木BS=(タクシー)=蛭ヶ岳登山口ゲート~登山口分岐点~八丁坂ノ分岐~東海自然歩道最高地点~榛ノ木丸(最高地点)~榛ノ木丸(1192m)~榛ノ木丸(最高地点)~八丁坂ノ分岐~登山口分岐点~東野BS=(バス)=三ヶ木BS=(バス)=橋本駅北口を実施予定。

・3/12に山岳誌Lコースとして、JR早川駅~石垣山一夜城(最高標高点272m)~佐奈田霊社(石橋山)~JR早川駅を実施予定。リーダーは出江俊夫が担当。

・3/26に山岳誌Hコースとして、御殿場駅=(バス)=旭日丘=(タクシー)=道志道の駅~ブナ沢乗越~菰釣山~石保土山~大榎ノ頭下~高指山~平野BS=(バス)=御殿場駅を実施予定。

・2/23に古道プロジェクトとして、本厚木駅=(バス)=煤ヶ谷BS~五大尊嶽・物見峠分岐から尾根直上ルート~縦走路・物見峠の南748m峰~釈迦嶽~三峰北峰(阿弥陀嶽)~中峰(妙法嶽)~南峰(大日嶽)~不動尻分岐~唐沢峠手前(不動嶽)~不動尻(聖天嶽)~山ノ神峠・隧道上(涅槃嶽)~広沢寺温泉~広沢寺温泉入口BS=(バス)=本厚木駅を実施予定。

・3/19に古道プロジェクトとして、本厚木駅=(バス)=広沢寺温泉入口BS~大釜弁財天(金色嶽)~十一面嶽~弁天御髪尾根合流・見晴広場B付近(千手嶽)~すり鉢広場(空鉢嶽)~鍵掛

～矢草ノ頭(明星嶽)～不動尻分岐～大山(大山寺本宮)～阿夫利神社下社(大山不動)～大山不動～ケーブル下=(バス)=伊勢原駅北口を実施予定。

- ・今年度予算執行に関して
前回までの審議内容を踏まえた事務局長からの提案が承認された。直ちに必要な手続きを行うことを確認した。

(4) その他

- ・3/4～3/6 に実施するスキー・スノーシュー懇親会の参加申し込みは現時点で5名。再度アナウンスすることにした。
- ・次回役員会で今年度の決算報告を完了し、年度末に監査を受けることを確認した。

3月役員会

日時：令和4年3月17日(木)：19:00～20:25

場所：かながわ県民センター710会議室

出席者：込田、永井、田島

オンラインでの参加：早川副支部長、森、落合、青木、植木、田中、葉上
オンラインで参加の監事：砂田
委任状による出席：長島、廣岡、渡邊、大槻

[報告事項]

(1) 会員の異動

前回報告分を資料で確認した。

(2) 山行報告

- ・2/26 に山岳誌プロジェクトHコースとして、橋本駅北口=(バス)=三ヶ木BS=(タクシー)=蛭ヶ岳登山口ゲート～登山口分岐点～八丁坂ノ分岐～東海自然歩道最高地点～袖平山～八丁坂ノ分岐～登山口分岐点～東野BS=(バス)=三ヶ木BS=(バス)=橋本駅北口を実施。積雪状況や時間を考慮して榛ノ木丸への踏査は取りやめ袖平山へ変更。参加者は5名。
- ・2/12 に山岳誌プロジェクトLコースとして、JR 早川駅～石垣山一夜城(最高標高点272m)～佐奈田霊社(石橋山)～JR 早川駅を実施。参加者は1

0名。

- ・2/23 に古道プロジェクトとして、本厚木駅=(バス)=煤ヶ谷BS～五大尊嶽・物見峠分岐から尾根直上ルート～縦走路・物見峠の南748m峰～釈迦嶽～三峰北峰(阿弥陀嶽)～中峰(妙法嶽)～南峰(大日嶽)～不動尻分岐～唐沢峠手前(不動嶽)～不動尻(聖天嶽)～広沢寺温泉～広沢寺温泉入口BS=(バス)=本厚木駅を実施。参加者は4名。

[審議事項]

(1) 年間計画

- ・神奈川山岳誌プロジェクトに関して、上半期はLコースは実施せず、Hコースを集中的に実施、令和4年度内の完了を目指すことにした。

(2) 山行計画

- ・3/26 に山岳誌Hコースとして、御殿場駅=(バス)=旭日丘=(タクシー)=道志道の駅～ブナ沢乗越～菰釣山～石保土山～大榎ノ頭下～高指山～平野BS=(バス)=御殿場駅を実施予定。
- ・4/2 に山岳誌Hコースとして、箱根湯本駅=(バス)=東芦の湯～ゴルフ場東端～丸山～ゴルフ場東端～東芦の湯=(バス)=箱根湯本駅を実施予定。ただし、現地の状況が不明のためプロジェクト内への公募は行わず幹事2名での調査山行とする。
- ・4/12 に山岳誌Hコースとして、三ヶ木BS=(タクシー)=神ノ川林道折花橋～鐘撞山～黒岩～大室山～馬場峠～加入道山～加入道山避難小屋～道志の湯～道志中学高=(バス)=旭日丘=(バス)=御殿場駅を実施予定。
- ・4/23 に山岳誌Hコースとして、根府川駅～白銀林道～前聖岳～聖岳～小田原城CC用道路～白銀林道～根府川駅を実施予定。
- ・3/19 に古道プロジェクトとして、厚木バスセンター=(バス)=広沢寺温泉入口BS～広沢寺ゲート～大釜弁財天～弁天の森キャンプ場跡～弁天見晴尾根取付～ひょうたん広場・東屋～弁天見晴～見晴B～見晴A～すり鉢広場～鍵

掛～893m 峰～不動尻分岐～大山～阿夫利神社下社～現大山寺～ケーブル下 BS＝（バス）＝伊勢原駅を実施予定。

・4/16 に古道プロジェクトとして、箱根湯本駅＝（バス）＝須雲川 BS～探勝路～江戸時代石畳～畑宿～甘酒茶屋～箱根港～箱根関所跡（解散）を実施予定。支部会員に公募する。留守本部は込田と森が担当。

・4/30 に自然観察会として、本厚木駅＝（バス）＝源氏河原 BS～荻野川沿いの道～あつぎこどもの森公園～園内観察～稲荷木 BS＝（バス）＝本厚木駅を実施予定。

- (3) 今年度予算執行に関して
前回の決定の内、スノーシューは購入できなかったため、アルパイン用ヘルメットに変更した。
- (4) 令和3年度支部事業報告
本部へ報告する内容が提案され承認された。
- (5) 令和3年度支部会計報告
今年度の支部会計報告と本部への報告内容の説明があり、承認された。
- (6) その他
- ・県岳連理事の交代：長島から田島へ
 - ・監査日程：3/20（日）17:00～ 県民センター708 会議室 Zoom の併用も予定。
 - ・全国支部懇談会の実施体制と次期役員候補者の2議題に関してオンラインで臨時役員会を開催することにした。日程は3/28～3/31 で調整する

3月臨時役員会

日時：令和4年3月29日（火）：19:00～20:20

場所：かながわ県民センター710会議室

出席者：込田、永井、田島

オンラインでの参加：大槻副支部長、森、青木、落合、渡辺、葉上

オンラインで参加の監事：砂田

委任状による出席：早川、長島、植木、廣岡

[審議事項]

- (1) 全国支部懇談会永井より資料12-1と12-2、田島より資料12-

3についてそれぞれ説明があった。その後意見交換を行い、その内容を踏まえて、以下のように対応することにした。

会場予定の上郷森の家と夕食の問題点を中心に詳細を協議するとともに、本部の意向（年次晩餐会の開催について）も確認して上で、4/21の役員会で開催の可否について最終判断することにした。実施可とする場合には実施体制の主要ポストの割りあてもあわせて提案することにした。

- (2) 定数改定・次期役員候補者
支部長より提案説明があり、審議の結果、原案を5月の支部総会の議題とすることが承認された。

今後の予定

令和4年度支部総会

5月28日（土）15時～県民センター711
別途案内

役員会

4月21日（木）19時～県民センター708

5月19日（木）19時～県民センター708

6月16日（木）19時～県民センター705

山行計画

かながわ山岳誌プロジェクト

加入道山

日時：4月12日（火）

場所：加入道山（Hコース）

橋本駅＝三ヶ木＝神ノ川林道折花

橋～鐘撞山～黒岩～大室山～加入

道山～道志の湯～道志中学校＝旭

日丘＝御殿場

担当：永井

聖岳

日時：4月22日（土）

場所：JR根府川駅～白銀林道～前聖岳～

聖岳～小田原城CC用道路合流～

JR根府川

担当：永井

古道調査/山岳古道120選事業

日時：4月16日（土）

場所：箱根旧街道東坂

箱根湯本＝須雲川～探勝路～江戸
時代石畳～畑宿～甘酒茶屋～箱根
港～箱根関所跡（解散）

担 当：葉上

自然観察会

日 時：4月30（土）

場 所：荻野川自然観察会（探鳥会）
本厚木駅＝源氏河原バス停～荻野
川沿いの道～あつぎこどもの森公
園～園内観察～稲荷木バス停＝本
厚木

担 当：渡辺

支部会員動静

《支部新加入》

15834 小林英世

15420 中村正之

《退会》

なし

（参考）全国支部懇談会（案）

主 催：公益社団法人 日本山岳会 神奈
川支部

期 日：令和4年（2022年）10月8
日（土）～9日（日）

宿 泊：横浜市上郷・森の家 本館
〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1499-1

日 程：

* 1日目 10月8日（土）

13：00～ 受付開始

14：00～ 開会式

14：15～ 講演会

16：00～ 自由時間（入浴等）

18：00～ 夕食・懇親会

22：00 消灯

* 2日目 10月9日（日）

7：00～ 朝食

8：00～ 交流登山等に出発

登山A：三浦アルプスハイキング

登山B：鎌倉アルプスハイキング

あとがき

4月16日に新東名高速の秦野丹沢スマートインターが開通します。大倉まで10分というまさに登山者のためのインターです。開通後の東丹沢がどう変わっていくのか、気になるところです。神奈川支部では秋の全国支部懇談会に向け、これから本格的な準備に入ります。支部会員の皆様の協力が不可欠となりますのでよろしくお願ひします（や）

発 行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：田島剛、永井泰樹、長島泰博、葉上徹郎

令和4年4月1日